達成度を測るための指標(2021年度)

当社では、「お客様本位の業務運営に関する方針」の取り組み状況を明らかにするために、達成度を測るための指標(自主的KPI)を下記の通り定め、ホームページ上で定期的に公表しています。達成度を測るための指標も参考にしながら、より良い業務運営を実現するために、「お客様本位の業務運営に関する方針」は定期的に見直しをしていきます。

対象期間2021年4月1日~2022年3月31日

●資料請求数とその増減

2020年度	2021年度	増減	概要
3, 491	2, 126	-1, 365	2020年度は新型コロナウイルスの流行が物もまり、自宅から関係をい組合を表する。 生物の といれて 2020年度は 多いました。 そは 多いましたが 数も例年より 多の 反い ましたが 数もの ましたが 数は はっています。

●保険商品の新規件数とその増減

保険商品	2020年度	2021年度	増減	概要
新コープのケガ保険	1, 180	767		2020年度は東京都の自 転車条例が施行された ことで、個人賠償責任
団体がん保険	271	199	-72	保険が付帯されている 「新コープのケガ保
ペット保険	91	80	-11	険」「交通傷害保険」 が大幅に が大幅の2保 で増件がここの2保 での1を でした。 での2は での2は での2は でででででででででででででででででででででででで
自動車保険	2	8	6	
アフラック	16	14	-2	
コープの介護保険	164	273	109	
コープの三大疾病保険	415	411	-4	
火災保険	88	76	-12	相下しよした。
教育費用サポート保険	16	18	2	
健康のお守り	8	7	-1	
交通傷害保険	654	276	-378	

●保険商品の保有件数とその増減

保険商品	2020年度	2021年度	増減	概要
新コープのケガ保険	6, 368	6, 750	382	「新コープのケガ保 険」「コープの介護保 険」「コープの三大疾
団体がん保険	4, 264	4, 188	-76	病保険」「交通傷害保 険」は団体内加入勧奨
自動車保険	253	87	-166	が定着する中で増件と なっています。 「団体がん保険」は加
終身医療保険	212	203	-9	入者の高齢化によって 保険料負担が困難とな るなど、新規契約を上
ペット保険	616	699	83	回って解約が増えてい ることで減件となって
コープの介護保険	675	881	206	います。 「自動車保険」はソ ニー損保とセゾン自動
コープの三大疾病保険	775	1, 182	407	車保険の代理店委託契 約が終了したことで大 幅な減件となりまし
火災保険	500	545	45	性は吸性となりより
教育費用サポート保険	108	112	4	
健康のお守り	51	52	1	
交通傷害保険	1, 120	1, 326	206	

●「お客様の声」の件数とその主な内容

2020年度	2021年度	増減	
19	19	0	
主なお申し出	が、実際の契約では盗難がありました。 ●「はながん保険」にでいる。 「団体がん保険」にでがれていたがいたがらいている。 ●」はいてからいたがらいている。 ・「対解が、ははアンとは解が、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	いて、契約取消の手続きしいて、契約取消の手続けれて、補償が開始しておりがなく、補償がたことで分からないのでは、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間には、1000年間には、1000年間には、1000年間には、1000年間には、1000年間には、1000年に	されているとのお申し出 き書類を加入者へのお申し出 き書類を加入者への後、 もまったたりました。 りにくいとの以上のお申 しにくいとの以生協商品利 らに上皮内がんが含まれ りに上皮内がんが含まれ りによでの保険料を掲載 いていないお客様から、
お褒め	ついて高齢の加入者から		した。 食者の範囲が子供であれ
お客様の声によって改善した業務		〕の加入者証は、初回係 元へ郵送される仕組みで その声」によって、引落し	ごしたが、当社や他の生

●年度始における業務改善計画の策定と実施状況およびその内容 (PDCA)

年度始に業務改善計画を策定し、職員研修、高齢者に対するアフターフォロー、個人データ管理 台帳の棚卸し、代理店BCP策定、自主点検など17項目を掲げました。主な実施状況としては以下 のとおりです。

- ・70歳以上の生命保険契約者へ契約内容を通知しました。
- ・電子データの棚卸しを実施し、個人データ管理台帳に紙媒体だけではなく電子データについても記載をしました。
- ・代理店BCP(事業継続計画)の策定を計画し、東都生協のBCPに保険代理店固有の運用を追加して作成しました。
- ・自己点検を年2回実施しました。

●自己点検(年2回)の実施状況とその内容

6月から7月にかけて、損害保険会社および生命保険会社から提供された自主点検シートを使用して1回目の自主点検を実施しました。

2回目の自主点検は、9月に団体保険の組合員対応を行っている職員6名に対してロールプレーイングを行い、コンプライアンス研修や商品研修で学んだことが実務に生かされているかどうか、業務改善計画の施策が実行されているかどうかを確認しました。また、個人情報漏えいのリスクを減らす取り組みとして、組合員への送付物への個人情報の記載の削除を行っていることから、改めて組合員への送付物の現物点検を実施しました。

●従業員に対するコンプライアンス研修および商品研修の実施状況とその内容

全従業員に対してコンプライアンス研修11回、商品研修10回を実施しました。主な研修内容は、個人賠償責任保険の補償範囲、高齢者や障がい者に対する保険募集、日本の公的医療保険制度について、代理店BCPの概要、補償の重複について、三大疾病保険について、保険業法に定める主な禁止行為などです。全従業員がアフラックの継続教育研修をe-learningで受講し、情報セキュリティ等について学びました。個別の研修としては、新たに配属となった従業員へコンプライアンスおよび当社保険制度についての研修を29回実施しました。使用人届出2年目の従業員に対して7回の実務研修を実施しました。

以上